開闢以來の大示威行列

参加人員無慮二万、整々の陣堂々の列、此三の事故も無くて真乎模範的に終始す

川崎三菱両造船の労働争議で鼎の沸くが如き七月の十日、神戸開闢以来の労働団一大示威行列が會下山を出発點として新開地を川崎造船所、三菱造船所と整々の陣、堂々の列を作つて練り行はれたのであつた

山々に谺す労働歌

整々たる太鼓の音、嘶喨たる喇叭の響

川崎電工先づ陣を進め打ち續く蜿蜒長蛇の列

此の日

未明の雷雨に洗はれた砂塵を吹き落さぬ程度に静かに降る霧雨を衝いて、三菱内燃機、川崎木工部、印刷工各組合、及東部の一丘に陣を張り白地に青、黄の陸離たる彩旗を翻し、東部、中央部と相呼號しつゝ整々たる太鼓の音、○○たる喇叭の音、労働歌の高唱と相俟つて陣を布き、整ふの形勢を見せた、時に午前九時

既に万

を以て數へた東方の高地は早くも三菱工機の一隊に占領され「憲法此の一期にあり」「勝利を得るまで」と大書した大旗幟の如く林立し、中央部の平地、斜面には川崎造船造機の一隊つゞいて人間の綿の如く、既に築山上の夏木立を彩り、労働歌の高唱、山々に谺して工木の間、叢蔭に見る労働者の顔

演説會で

交渉顛末報告の

社會主義者も檢束

聚樂館大盛況

十日午後一時から川崎造船常正會の交渉顛末報告の演説會が新開地聚樂館で開かれた、尾川、荒井、青柿、山脇の四名員の報告演説があつて、聴衆は例の通り入り満員拍手喝采裡に四時閉會した此演説中に例の社會主義者高正堂氏が「東京から只今着した所です」と飛入り演説を試みんと演壇に上つた所を近藤某、木谷某の同主義者両名と共に奥川警部に檢束された、又勤労者部でも此日午前

四列縦隊で先づ川崎へ

轉じて更に三菱へ行進

大阪の應援團を殿した行列中に派手なパラソルの万緑叢中紅一點

友愛會が活動寫眞撮影

會下山を出發した大示威行列は九時十五分頃原湊川署長及び署員の警護が厳重にして隊伍を整へ、ある有様で、その長さ實に一里に餘り

労働歌

の聲、天地も震撼せしめるばかりであつたが、先頭の柴田、中堅の堀、青柿、後衛の行政各氏の指揮に依つて隊伍整々、眞に模範的大示威行列たる三万と註され神戸空前の大行列であつた

参加團

尚ほ川崎造船地の松の木間を縫り込み行間に、總指揮官の久留其他の幹部を先頭に、川崎造船造機、製鋼相並んで陣を進め、続いて三菱造船所と整々の陣が續き、長蛇の陣が續いて會下山を出發した大示威行列は九時十五分頃原湊川署長及び署員の警護が厳重にして隊伍を整へ、ある有様で、その長さ實に一里に餘り

万朶の

さ見せながら尚ほ川崎の機間に三菱労働機、鍋栄電機、道具、印刷工組合、大阪聯合會、神戸各團體、兵庫工場の各團體が續々こして隊伍を整へ、ある有様で、その長さ實に一里に餘り

労働歌

の聲、天地も震撼せしめるばかりであつたが、先頭の柴田、中堅の堀、青柿、後衛の行政各氏の指揮に依つて隊伍整々、眞に模範的大示威行列たる三万と註され神戸空前の大行列であつた

先頭に

「團結の威力等こ大書した大幟押し立て音樂隊の吹奏する樂の音に合せて労働歌を高唱しつゝ川崎造船所の重正會、電氣工作部に次いで三菱、川崎兵庫分工場

其次き

に大阪、尼崎から應援の爲めに來神した尼崎久保田鐵工組合、友愛會大阪支部、リバープラザース石鹸工場組合、印刷工神戸支部、大阪印刷工組合

大阪相

澤鐵工組合（此數約二千名の應援團を以列縦隊を造り川崎本社前に着し、それより職

大旆小旗渦を巻いて

炎下に三菱造船前で

約三時間半に亘る長大示威運動

凄壯宛ら戰場の如し

十時廿分騎馬巡査の先で「總指揮官」の旗を掛けた神戸友愛會の久留幹事を先頭に第一部隊の川崎本社電正會が先頭旗「労働者の存亡この一戰にあり」と書き流した長旗を押立て赤旗黄旗を手に振り翳しつゝ、樂隊に歩調を揃へ隊伍宛も一糸乱れず「労働一の新社會」の労働歌を高唱えつゝ三菱に到着し

輝やか

しい、越した心ばへ何物も燦き驚さねば止まない氣概を示した

暫くの間は流石に廣い通の和田宮通も前進後進の示威運動開催り身動きもならず大師小旗が波を打つて寄せては退き行く凄い光景宛ら戰場を見るやうで一時間二時間を經過しても猶示威運動は續き

正午過ぎ今日の總大將の加川幸彦氏が來て整理に努める一方

愉快相

に終始笑顔で昔頃を取りて指揮し運動は頗る整然として行進し十二時十分過ぎ川崎本社の鉄物工場圏で「これになつたが職工の示威行列到着し漸く三時間半に亘つた示威運動は

五尺巾

に一変もありそうな大通を先頭に立て暫らくは大廣地で大示威運動を試みてる所へ大阪十六聯愛會支部、尼崎久保田鐵工所、大阪造船組合の應援團數百名が繰込んで來た爲め場は築地と赤旗黄旗で埋つて一部は壁く閉された正門へ雪崩込まんとしたが、整理委員が漸く

喰ひ止

め徐々解散場所へと進行を續け川崎分工場鋼課二千數百名を殿に午後三時前

他署の

應援で二百名

活動寫

眞隊が自動車で行列の中を縫ふて本社前に來り約二十分示威行列の模様を撮影し更に引き返して新開地常盤倶樂部でも同様撮影したので應援團の印刷工組合神戸支部中に万緑叢中の

紅一點

紫と黄と黒に刺繍を施した洋傘を翳した若い女が三人混つてゐた、聞けば内の一人は印刷工組合神戸支部の某嬢事の妻君で態々應援に來たのだつた、此日相生警察では

三角の

小旗打振り労働歌を高唱し電車の沿線に沿ふて大阪相澤鐵工組合の應援團を殿りに十一時五十分頃漸く三菱造船所に向つた、此示威行列中最も目を惹いたのは友愛會支部の

青襷隊の餘類檢擧

ハンマーの柄で殴り立て

三人に重傷を負した犯人逮捕

七日午後一時頃川崎造船所（三菱右後頃部外二ヶ所同時に）六丁目一九六大通み二（こ）の内で音業中の同造船所電氣工作部数ケ所を殴り重傷を負はしの職工が正門より雪崩出やうとしたのを青襷隊が防ぎ止めたので端無くも亂闘となり青襷隊は何者かに與へられたハンマーの柄を持つて職工を亂打し職工側に数名の負傷者を出した非常報の如くだが、相生警察では加害者を捜索の結果既報短刀犯人の青襷を檢挙し更に香川縣佐比江町二二栗田方同居人谷田常吉（二）を逮捕し取調べた所吉もその當時青襷をつけハンマーの柄を持つて騒ぎ殺傷に加はつた事を自白したので直ちに留置を命じ尚ほ共犯者佐野通一丁目三の五久米之助（二）

八幡丸 七月廿二日午前十一時 神戸丸 七月廿日午前十一時（門司着廿日午後三時）

長崎行 （同長崎、上海經由）